

請願

委員会提出議案

9月定例会における各常任委員会での質疑



土砂が堆積した揖保川（龍野町川原町から撮影）

採択した請願
○播州地域の市民の生命と財産を守る一級河川揖保川及び一般国道2号並びに一般国道29号の整備事業の推進に関する請願書

9月定例会に提出された請願は右の1件で、全会一致で採択しました。

委員会提案により、請願採択に伴う意見書案を可決し、後日、内閣総理大臣ほか国の関係機関へ意見書を提出しました。意見書文は下記のとおりです。

意見書第6号

一級河川揖保川、一般国道2号及び一般国道29号の整備事業の推進と姫路河川国道事務所の存続を求める意見書

一級河川揖保川は、全長70km、流域面積810km²に及んでおり、流域は約80%が山間部であるため、急な勾配を形成しており、これまで度重なる水害を引き起こしてきました。

一般国道2号は、主要幹線道路であり、地域の経済活動を支える道路として、近畿管内でも有数の交通量が多い路線となっています。

また、一般国道29号は、古くから播磨地域の南北の交通を担う道路として重要な役割を果たしています。

当地域を管轄する国土交通省姫路河川国道事務所は、揖保川流域の堤防や護岸の改修をはじめとした治水事業に取り組むとともに、一般国道2号や一般国道29号の交通安全対策、交通混雑の緩和、沿道環境の改善に取り組んでおり、西播磨地域の安全安心なまちづくりや住民の生命と財産を守る重要な事業に大きく寄与しています。

特に、近年頻発するゲリラ的災害から守るべき整備や発生した災害の復旧は、迅速な対応が求められており、これらの事業は、国の責任において、重点的な予算配分を行うとともに、河川・国道の改修・維持管理を国行政機関である姫路河川国道事務所が引き続き行うなど、下記事項について強く要望するものです。

記

1. 公共事業予算を防災、生活関連、維持管理に重点配分するとともに、一級河川揖保川、一般国道2号及び一般国道29号の防災事業を含む整備事業において、災害発生時には、迅速に対応できる体制を確立すること。
2. 一級河川揖保川、一般国道2号及び一般国道29号の防災事業を国の責任において実施するとともに、姫路河川国道事務所を存続させること。

総務文教常任委員会 ◆たつの市税条例等の一 部改正

寄附金の税額控除額 が引き下げられ、過料を 引き上げる改正になるが、 その背景はどのようなも のか。

答 所得税において、昨
年度から寄附金税額控除
の下限額が引き下げられ
た背景は、5000円か
ら2000円に引き下げ
られたことで、個人住民
税の下限額も同様に引
下げられた。また、過料
が3万円から10万円に引
き上げられた背景は、平
成23年度税制改正におい
て、脱税犯を含む税法違
反には厳罰化する方針が
出されたことで、地方税
法においても同様の扱い
になった。

答 税の申告がない場合
いきなり過料を科すこと
はしない。はがき等で何
度か通知し、連絡がない
場合には訪問している。
それでも申告しない悪質
なケースに過料を科すこ
とになる。

答 過料を科すまでの手
順などはどうなっている
のか。

が変われば条例も改正す
るという経緯がある。今
回、地方税法の規定が改
正されたことに伴い、市
税条例も改正した。

問 従来から、国の法律 答 本市では、過去に過 料を適用したケースがな いのに、なぜ過料の引き 上げをするのか。

答 費用が、当初の見積も
りよりも少なかったこと、
及び公共施設美化等活動
補助金の実施件数を少な
く見積もり直したこと、
より減額した。

◆平成23年度たつの市 般会計補正予算(第3号)

問 自立のまちづくり事
業(公共施設補修・美化
等活動編)について、事
業開始から6ヶ月で減額
補正する理由は。

答 農道等維持管理用原
材料費が、当初の見積も
りよりも少なかったこと、
及び公共施設美化等活動
補助金の実施件数を少な
く見積もり直したこと、
より減額した。